

スマイル



第7号 2023. 11. 22 発行
南つつじヶ丘小学校
通級指導教室

秋が深まってきました



11月も後半になり、気付けばあっという間に日が暮れるようになりました。夕方の空を眺めていると、いろいろな色が浮かんでいて、とても幻想的な様子がうかがえます。夕方の忙しい時間ではありますが、少し空の様子を見てみると心が落ち着くように感じる今日この頃です。子どもたちにとっては、まだまだ遊びたいのに、あっという間に外が暗くなり、遊び足りない・・・と感じる季節かもしれませんね。日暮れが早くなるからこそできる楽しみを見つけたいと思います。

読書について



秋は【スポーツの秋】【食欲の秋】【読書の秋】などと形容されることが多いですね。今回は読書について考えてみたいと思います。

子どもたちが学校や家庭でどのくらい読書に親しんでいるのでしょうか。ベネッセの「子どもの生活と学びに関する親子調査」が行われ、およそ4割が読書時間0分、つまり読書をしていないという結果があるようです。各学校で読書タイムとして取り組まれていることもあるため、一概に0分とは言えないですが、少しでも読書時間が増やせるといいなと思います。

読書のよさ



読書をするのはいいことだと言われますが、どのようなよさがあるのかについて改めて考えてみました。

- ①読解力がつく
- ②コミュニケーション能力の向上
- ③集中力が高まる
- ④語彙力アップ

①③④は読書の効果として想像しやすいですが、②コミュニケーション能力の向上も大きな読書の効果とあげられます。言葉をたくさん知っているということは、人と関わる際にも様々な言葉で伝えたり、相手が考えていることを言葉から想像したりすることができます。円滑なコミュニケーションをとるためには、やはり言葉を知ることが大事だと考えられます。

たくさんの力をつけられる読書、読み聞かせでも興味のある分野の読書でも、ほんの少しご家庭で一緒に取り組んでみるのはいかがでしょうか。

～おすすめ本紹介～

(絵本と読みきりのお話です。)

○『ぼちぼちいこか』

マイク=セイラー作 ロバート=グロスマン絵
いまえよしとも訳 偕成社

「ぼちぼちいこか」のフレーズがくりかえされ、ほっこりします。

○バムとケロのさむいあさ

島田ゆか 文溪堂

お話のおもしろさはもちろんのこと、絵が細かく想像が広がります。

○かがくのお話25 シリーズ

西東社

短い読み切りのお話が掲載され、とても読みやすいです。様々なシリーズがあるため、興味関心にあわせて選ぶことができます。